

年頭のごあいさつ



美浦村長
中島 栄

新年明けましておめでとうございます。

平成三十一年の新春をお健やかに迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

本年4月30日、今上天皇が退位され、翌5月1日に新たな天皇が即位されます。それとともに新元号が發布され、日本の新たな年が始まりとなります。本年も「人と自然が輝くまち みほ」の村政運営の先頭に立ち、執行部と村議会の総合力を生かし、長い歴史が育んできた美浦村の文化を守りながら、皆さまと共に歩んでまいりたいと存じます。

さて、昨年を振り返りますと様々な出来事がありました。近年増加傾向にある自然災害は、昨年も日本各地に大きな爪痕を残しまし

た。特に、9月に発生した北海道胆振東部地震では、北海道胆振地方中東部を震源に最大震度7を観測し、甚大な被害となりました。40名を超える尊い命が奪われ、家屋の倒壊や大規模な停電、土砂崩れが発生し、広範囲にわたり大きな被害に見舞われました。

私たちは、今まで予期しなかった自然災害がどこにでも起こり得ることを認識せねばなりません。その上で、想定外の有事にも「備えあれば憂いなし」の予防、防災訓練など、住民参加型の訓練を実施してまいります。

昨今の経済状況に目を向けてみますと、7～9月期の実質GDPは前期比年率マイナス0・3%と、2四半期ぶりに前期比減であり

ましたが、一時的な減少であり、景気回復の動きは維持されているとされております。そのような状況で行われた自民党総裁選挙では、安倍晋三内閣総理大臣が3選を果たしました。新内閣には少子高齢化、人口減少対策など、山積する諸問題に対して、確かな政策の実行を進めていただきたいものです。

一方で、明るい話題もありました。9月に行われた全米オープンテニスの女子シングルスで大坂なおみ選手が、日本人初の四大大会制覇を成し遂げました。今後のますますの活躍が期待されます。

また、美浦村の知名度向上やイメージアップのために、同村出身で元プロ野球選手の阿井英二郎さんと本村のマスコットキャラクター「みほーす」を初代ふるさと大使に任命しました。大使には、それぞれの仕事や活動の機会を通して、美浦村の魅力を折に触れてPRするとともに、村内外のイベントなどに参加して美浦村の知名度を上げ全国に発信していただきたいと思います。今後、ふるさと大使の益々の活躍を期待しております。

全国の町村では少子高齢化が進み、深刻な

状況が続いています。しかし、先人たちが守ってきた伝統文化の継承や自然環境の保全は、私たちが担っていくかねばなりません。魅力ある地域社会を継続していくためには、住民と行政が手を携え、主体的・自立的に施策を展開していくことが不可欠であり、それが基礎自治体たる美浦村の発展につながります。美浦村が誇る霞ヶ浦をはじめとする自然豊かな景観は、人々の心に癒しと安らぎを与えてくれます。この素晴らしい環境を未来に繋いでいきましょう。これから、特色ある、魅力あふれる施策を実施していきたいと考えております。

今後も「地域主権」の確立に向けて村民の皆さま自らが村づくりに参加され、「自分たちの村は自分たちで創り守る」を念頭に、ともに発展していくよう最大限努力してまいります。住民が主役の村政へのご支援ご協力を心よりお願い申し上げますとともに、皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げ、年頭のごあいさつとさせていただきます。

平成三十一年 新春